

## これまでの研究テーマ

### 4. 地域 班

- 2009 年度：東鳴子温泉活性化に向けて都会の若者からの提言  
(担当教授：久恒啓一)  
フィールドワーク：宮城県東鳴子温泉「大沼旅館」
- 2011 年度：震災と日本再生 東北グローバル・イノベーション(水産業)  
(担当教授：久恒啓一・長田貴仁・木村知義)  
フィールドワーク：宮城県東鳴子温泉「大沼旅館」、河北新報社、東の食福幸祭(国立代々木競技場)、東北「道の駅」大震災研究プロジェクト報告会(せんだいメディアテーク)、宮城県仙台市「浪分神社」、合同会社OHガッツ(宮城県石巻市雄勝町)、東日本大震災被災地視察(女川町、松島町)
- 2012 年度：東北を活性化するコミュニティ形成：福島県平田村の事例  
(担当教授：久恒啓一・長田貴仁・松本祐一)  
フィールドワーク：道の駅「林林館」(宮城県登米市)、道の駅「上品の郷」(宮城県石巻市)、道の駅「あ・ら・伊達な道の駅」(宮城県大崎市)、道の駅「三本木」(宮城県大崎市)、道の駅「津山」(宮城県登米市)、道の駅「路田里はなやま」(宮城県栗原市)、道の駅「ひらた」(福島県石川郡)、ジュビアランドひらた、若清水酒造株式会社(福島県石川郡)
- 2013 年度：湯河原の活性化 ～介護者うつ予防の提案～  
(担当教授：諸橋正幸・中澤弥)  
フィールドワーク：湯河原温泉観光協会、有限会社ピース、日本医療病院管理学会、シンガポール航空
- 2014 年度：震災3年後から見る水産都市の地域創生  
ーコネクターハブとソーシャルイノベーターの重要性の観点からー  
(担当教授：中庭光彦・諸橋正幸・出原至道・中澤弥・木村知義)  
フィールドワーク：復興商店街(宮城県気仙沼市)、南三陸町防災対策庁舎、情報交流館(宮城県女川町)、石巻港朝市、陸前高田、気仙沼市役所
- 2015 年度：ワークライフバランスの観点からみた、「若者移住による地方活性化」の方向性を探る  
(担当教授：中庭光彦・諸橋正幸・河野龍太・木村知義)  
フィールドワーク：愛知県長久手市くらし文化部「たつせがある課」、三重県伊賀市「もくもくファーム」、長野県飯田市「多摩川精機株式会社」
- 2016 年度：雇用安心循環モデルの提案  
(担当教授：中庭光彦・中澤弥)  
フィールドワーク：柏地域医療連携センター(千葉県柏市)、道の駅とみうら「枇杷倶楽部」(千葉県南房総市)、徳島県神山町「神山モデル」

### 5. 環境・エネルギー 班

- 2009 年度：グリーン・ニューディール  
(担当教授：菅野光公・長田貴仁)
- 2012 年度：地域特性を生かしたエネルギー自立化モデルの可能性  
(担当教授：菅野光公・木村知義)  
フィールドワーク：外部セミナー「風力発電が日本のエネルギーの一翼を担うために」(首都大学東京秋葉原サテライト)、外部セミナー「電力系統のスマート化を支えるパワーエレクトロニクス技術の新展開」(東京大学本郷キャンパス)、外部セミナー「日立イノベーションフォーラム 2012」(東京国際フォーラム)、岩手県葛巻町(グリーンパークくずまき、森のこだま館、老人介護施設アットホームくずまき、葛巻林業、森のそば処、エコ・ワールドくずまき風力発電、木質バイオマス・ガス化発電設備、バイオガスプラント、ゼロエネルギー循環住宅、葛巻中学校)、多摩市清掃工場、リサイクルセンター
- 2013 年度：スマートユニバーシティ構想  
(担当教授：長田貴仁・荻野博司)  
フィールドワーク：唐木田ゴミ焼却施設(東京都多摩市)、外部セミナー「大学連携スマートキャンパスシンポジウム」(東京工業大学大岡山キャンパス)
- 2016 年度：地震発生後の対応について  
～ICTを活かした問題の解決！次の災害に備えて～  
(担当教授：久保田貴文・荻野博司)  
フィールドワーク：東京都墨田区本所防災館、熊本県(阿蘇大橋、東海大学農学部地区、阿蘇神社、熊本城、西原村仮設住宅、益城町総合体育館避難所、八代フェリー港、くまもと文学・歴史館)

### 6. AI 班

- 2017 年度：高齢者の明日へ ～AIを活かし共生の道をひらく～  
(担当教授：久保田貴文・大場智美・木村知義)  
フィールドワーク：エムール株式会社、中国黒竜江省、湘南台文化センター太極拳クラブ、社会福祉法人合掌苑「鶴の苑」

## 九段サテライト周辺および史跡等



- 九段サテライト  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北1-9-17 寺島文庫ビル3階  
地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線  
「九段下駅」(5番出口) 徒歩3分  
地下鉄半蔵門線・都営新宿線・三田線  
「神保町駅」(A2出口) 徒歩7分  
E-mail: koho@gr.tama.ac.jp



- 多摩キャンパス (経営情報学部)  
〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1  
TEL: 042-337-1111 (代表)
- 湘南キャンパス (グローバルスタディーズ学部)  
〒252-0805 神奈川県藤沢市円行802  
TEL: 0466-82-4141 (代表)
- 品川サテライト (大学院 経営情報学研究科)  
〒108-0075 東京都港区港南2-14-14  
品川インターシティフロント5階  
TEL: 03-5769-4170 (代表)

# 多摩大学 インターゼミ (社会工学研究会) 寺島実郎学長直轄ゼミナール

Tama University Inter Seminar



## インターゼミ(社会工学研究会)～文献研究とフィールドワーク

インターゼミ(社会工学研究会)は、毎週土曜日(16:20～17:50)、九段下寺島文庫3階の多摩大学九段サテライトで開講している寺島実郎学長の直轄ゼミナールです。

経営情報学部・グローバルスタディーズ学部の2学部と社会人大学院生および卒業生、修了生を含めた約40人を4つのチームに分けて、それぞれに年間課題として研究テーマを与え、文献研究とフィールドワークでチームとして課題に対する論文を書き上げます。1つのチームに、両学部・大学院の教授が3名以上配置され、世代を超えた共同研究となっています。

インターゼミが、なぜ都心の九段サテライトで開講されているか。それは九段周辺にある様々な史跡と神田神保町の古本屋街の存在です。ゼミの前後に史跡を巡り、神田古本屋街に足を向け、本を発見し、手に取り、考え、自分の頭を鍛えるという経験を積み上げます。

本気で大学・大学院生活の間に、1つのテーマにぶつかって、勉強し自らを錬磨しようという人が、2つの学部と大学院の交流を通じたスパークのあるゼミに参画しています。



毎週行われる世界と日本の情勢を踏まえた寺島学長講話

## ゼミ概要～学長講話・グループワーク



寺島学長によるチーム別の論文指導

春学期(4月～7月)、秋学期(9月～1月)の毎週土曜日の5時間目(16:20～17:50)、多摩大学九段サテライト(東京都千代田区九段北1-9-17 寺島文庫ビル3階)にて開講。

8月に、箱根にて1泊2日の夏季合宿をおこなう。

毎回の講話は、前半寺島実郎学長による、その週の世界と日本の出来事等の講話と教授陣のミニ講義。後半は、チームごとのグループワーク。

年3回(6月:研究計画発表、8月(合宿):中間発表、1月:最終発表)、学長、両学部・大学院の教授陣およびゼミ生に向けての発表をおこなう。

## 実績～企業・自治体のトップへの提言多数



サービス・エンターテインメント班の3年間のディズニー研究の論文を株式会社オリエンタルランド代表取締役社長(兼)COOの上西京一郎様に贈呈し、感謝状をいただく。(2012年4月16日)



復興構想コンテスト～震災復興から日本創生へ～において、地域班が優秀作を受賞。(2012年4月20日)



多摩学班が加山俊夫相模原市長を訪問し、相模原の将来構想についての意見交換。(2014年12月10日)

## これまでの研究テーマ

### 1. 多摩学 班

- 2009年度: 多摩ニュータウンの活性化に関する研究  
(担当教授: 酒井麻衣子・松本祐一)
- 2010年度: 八王子千人同心、絹織物産業、民話、多摩川の水防、市民農園  
(担当教授: 中庭光彦・松本祐一・菅野光公・長田貴仁)
- 2011年度: 中里介山・白洲次郎にみる成り上がり新中間層と多摩地域の関係  
(担当教授: 中庭光彦・松本祐一・諸橋正幸)  
フィールドワーク: 武相荘、羽村市郷土資料館
- 2012年度: 浦賀を中心に見た 江戸幕府の対外貿易と海防  
(担当教授: 中庭光彦・諸橋正幸)  
フィールドワーク: 浦賀コミュニティセンター(郷土資料館)、浦賀城
- 2013年度: 自由民権運動にみる多摩のDNA  
(担当教授: 中庭光彦・奥山雅之・木村知義)  
フィールドワーク: 町田市立自由民権資料館
- 2014年度: 2040年多摩の展望～50年に一度の交通革命をこえて～  
(担当教授: 奥山雅之・荻野博司)  
フィールドワーク: リニア中央新幹線駅予定地、さがみはら産業創造センター、アメリカ軍使用補給基地、まちだテクノパーク、南大沢アウトレット、リニア中央新幹線資料センター(山梨県都留市)、羽田ヤマトクロノゲート、相模原博物館、JAXA、相模原IC、横田飛行場、日光(アジアダイナミズム班合同FW)、相模原商工会議所、相模原市長面会、外部セミナー「リニア・新幹線・相模線3同盟会共催講演会」
- 2015年度: 多摩ニュータウン2.0  
～ニュータウン再生に向けた多摩版CCRCの可能性と提案～  
(担当教授: 奥山雅之・栢原伸也・荻野博司)  
フィールドワーク: 高蔵寺ニュータウン(名古屋市)、中部大学、豊田産業技術記念館
- 2016年度: 多摩ニュータウン再生に向けた新たな活性化策の研究  
～シニアと学生との緩やかなネットワークの形成を中心に～  
(担当教授: 奥山雅之・木村知義)  
フィールドワーク: 株式会社エニタイムズ「困りごとマッチングサービス」多摩市環境行事実行委員会主催「環境ウォッチング」、ヤマト運輸株式会社「ネコサポステーション」、合同会社たまプラ・コネクト「学びあいシステム」、NPO法人リブ&リブ「世代間交流ホームシェア」
- 2017年度: 若者にとって魅力ある多摩地域の創生～若者呼び込みに向けた提案～  
(担当教授: 丹下英明・野坂美穂・荻野博司)  
フィールドワーク: 多摩市でのアンケート調査(多摩市内イベント会場、多摩センター駅前、永山駅前)コレクティブハウス聖蹟



議論が白熱するグループワーク

### 3. サービス・エンターテインメント 班

- 2009年度: ウォルト・ディズニー、ディズニー社、東京ディズニーランド  
(担当教授: 渡邊 泰典)  
フィールドワーク: 東京ディズニーランド、サンリオピューロランド
- 2010年度: ①ディズニー: ディズニーキャラクタービジネスの成功要因に関する考察  
フィールドワーク: 東京ディズニーシー  
②観光: マンガ・アニメ・ツーリズム  
フィールドワーク: 宮城県石巻市石ノ森漫画館  
(担当教授①②: 酒井麻衣子・中澤弥)
- 2011年度: ディズニーにおける人材育成  
(担当教授: 酒井麻衣子・中澤弥)
- 2012年度: ディズニー海外展開戦略  
(担当教授: 酒井麻衣子・中澤弥)  
フィールドワーク: 東京ディズニーランド
- 2013年度: 顧客・従業員満足度に関する考察  
～多摩大生が企業を選ぶ際に重要視すること～  
(担当教授: 安田震一・菅野光公)  
フィールドワーク: コールドストーン、スターバックスコーヒー、香港ディズニーランド、東京ディズニーランド、和民



学長、教授陣、ゼミ生の前でのチーム発表

### 2. アジアダイナミズム 班

- 2009年度: アジアとの交流プログラム・多摩大学の留学生獲得戦略研究  
(担当教授: 金美徳・木村知義)  
フィールドワーク: 立命館アジア太平洋大学、北九州市立大学
- 2010年度: ①歴史・文化: 東アジアの未来像の構築に向けて  
②経済: 「ヒト」「モノ」「カネ」「産業」  
(担当教授①②: 金美徳・木村知義)  
フィールドワーク: 立命館アジア太平洋大学
- 2011年度: 孫文・伊藤博文・安重根  
(担当教授: 金美徳・菅野光公)
- 2012年度: 尖閣諸島・竹島  
(担当教授: 金美徳・巴特尔)
- 2013年度: 日本とユーラシアの交流 一飛鳥寺を手掛かりに  
(担当教授: 金美徳・巴特尔・小林英夫)  
フィールドワーク: 帝塚山大学(合同ゼミ)、飛鳥寺、元興寺
- 2014年度: 江戸期の日中韓交流  
～朝鮮通信使の外交・文化的意味と現代的意義～  
(担当教授: 金美徳・巴特尔・小林英夫)  
フィールドワーク: 対馬、対馬観光物産協会、長崎県立対馬歴史民俗資料館、対馬市役所、広島、松浦園、御馳走一番館、長瀬木、朝の浦、外部セミナー「日韓における交流拡大と平和増進に果たした朝鮮通信使の役割」(静岡県静岡市)、清見寺(静岡県清水区)、日光、日光東照宮、朝鮮鐘、三具足、八王子千人同心記念碑、輪王寺三仏堂宝物殿、大猷院、朝鮮通信使・今市客館跡碑
- 2015年度: 琉球国と東アジア交流  
～琉球史から探る沖縄の自立自尊と経済的自立～  
(担当教授: 金美徳・巴特尔・中澤弥)  
フィールドワーク: 台湾駐日経済文化代表処、普天間基地周辺、辺野古、名城大学、中城城、琉球大学、沖縄タイムズ社、那覇市場、首里城
- 2016年度: 長崎が拓いたアジアとヨーロッパの交流  
(担当教授: 金美徳・大場智美)  
フィールドワーク: 島根県石見銀山、長崎県(平戸オランダ商館、松浦資料博物館、長崎大学多文化共生学部オランダ学科、サントドミンゴ教会跡資料館、出島、長崎文化博物館)、横須賀市浄土寺
- 2017年度: モンゴル帝国のユーラシア興隆史  
(担当教授: 金美徳・水盛涼一)  
フィールドワーク: 京都市(国際日本文化研究センター、龍谷大学文学部、関西大学東西学術研究所、東福寺、龍谷ミュージアム、天龍寺)